

本照寺だより

日蓮宗 常栄山

お会式が4年ぶりに大規模開催

■10月21日(土)、お寺の秋祭り「お会式」を無事に終えました。4年ぶりに屋台の出



店と夜間の大規模な万灯行列が復活し、およそ300名以上の方が来場。とてもにぎやかな1日になりました。

◆今年は新たな取り組みとして、お庭や和室でできるお抹茶体験、プログラミングによるゲーム作り体験、足もみを実施。新しいご縁をいただく



くなどして、たくさんの方の催しを用意することができました。◆今年、印象に残ったこと

- ⑤ ①行列へ出発前のお稚児さん。本堂前でお坊さんとパチリッ
- ⑥ 今年は角塔婆がキレイに生まれ変わりました。カンナで削って書き直した。贅沢な時間
- ⑦ 大王松の庭でお抹茶の体験をする子ども。贅沢な時間
- ⑧ ⑨なんと、パソコンにプログラミングをしてゲーム作りを楽しむ子ども

前回、お釈迦様の遺言から、日々の生活において意識下におき続けることが仏道修行の入口である旨を説明いたしました。

●多忙な生活で得られた気づき

そんな生活を送るなか、妻が新型コロナウイルスに感染したことがありました。

いつもは家事・育児を妻に任せつつあったので、仕事をこなしながら一人で家事・育児・妻の看病をすることになり忙殺されてしまいました。とても、ゆったりと行動して自分の一挙手一投足を意識下などおいていないことができませんでした。

ていねいな所作と仏道 (後編)

●粗雑な言動は乱心のサイン

以上、日常生活での仏道実践の気づきをお伝えいたしました。最後に、仏教の修行へ関心のない方へも含めてお伝えしたいことがあります。

ただそれだけだとは思いますが、それは、自分の心が追い詰められ、様々なことを意識下に置きにくくなっているサインの可能性があるので、粗雑な言動をしてしまっているのか、ご自身の心の健康を判断する一つの指標としていただければ幸いです。

自らを注意深く見つめていく仏教の実践は、悟りという遠いゴールを求めているという遠い方にとっても非常に有益です。仏教の教えや実践で、皆さまが少しでも安らかな生活を送れることを祈っております。

「汝、一心に精進し、當に放逸(ほういつ)を離るべし」(法華経)

副住職のコーナー



朝の詩

おつかい

香川県東かがわ市
八木加奈子 70

94歳の母に時々おつかいを頼まれる

貼るカイロ

目薬

みかん

らっきょう

シミ消しクリーム

信じる人

松山市 坂本 寛 73

あの食べ物には身体に良いと言えれば食事にダイエツトが身体に良いと言えれば歩きボケ防止には脳トレグッズのゲームが良いと言えれば信じ

「オレオレ」電話を疑いもなく信じ

すぐお金を振り込む人

そうゆう人にならな

なりたくない

どれどれ

大阪府羽曳野市 三崎 伴子 81

おじいさんおじいさんお月さんが2つもお月さんが2つもお月さんが2つもお月さんが2つ

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

お月さんは1つです

変しい(恋しい)

宇都宮市 高橋 将 67

字を正しく覚えることは大切なことよ

浅井先生(故人)が教えてくれました

変な字が書いていたら

可哀しいでしよ

浅井先生、ちゃんと

肝に銘じていますよ

妻を毒と書きません

(産経新聞)



きたものへ継続的に取り組んでいただけたらと思います。◆スタッフの皆さま、万灯を奉納してくださった皆さま、ご来場の皆さま、誠にありがとうございました。また、来年を楽しみにしていただきます。(副住職 須藤貴裕)

- ⑤ ⑥役員さんによる万灯行列。夕暮の間に灯りが目立っていました。錫杖(しゃくじょう)のガシヤンガシヤンという音もいい味を出していました
- ⑦ 竹灯ろうやその他の灯りが奉納された本堂。日蓮聖人のご聖日です。から灯りをお供えしているんです



ご埋葬

字彫代 38,000円 墓送料 11,000円 清瀬・澤石メジ会みまほ

本照寺様出入り石材店

株式会社イシックス 平塚店 平塚市四之宮2-24-31 小田原店 小田原市藤町1-25-21-201 0120-011140 isix.jp

「(私は) 仏教とは恐ろしく非科学的な感じの概念と思っていました」

「すべてのものより仏教に優位を認めずにはいられない」

■30〜50年前、「ニューサイエンス・新しい科学の枠組み」といった言葉がもてはやされた。これらはニュートンやデカルトに代表される「要素還元主義」
「機械論的世界観」から「全体論」へと「パラダイムシフト(チェンジ)・物の見方が一変」した時代であった。そしてそれは、仏教的世界観を模索する時代であった。以下にそれに即した著名な方々の言葉を紹介したい。

アインシュタイン

■「物理的な考えを究極に突き詰めていくと、仏教に説かれる概念と酷似する。また現代科学に欠けているものを埋め合わせるものがある」とすれば、それは仏教である」

アインシュタイン(ドイッ生まれ・20世紀最大の理論物理学者でありノーベル物理学賞受賞者・相対性理論提唱者)

ジェフリー・チュー

■「1969年のことです。当時、『東洋哲学』の勉強をしていた高校生の息子が、大乘仏教について私に話してくれたときの驚き、悔しさは今でも鮮明です。私は仏教とは恐ろしく非科学的な感じの概念と思っていましたから、私の理論との結びつきに、ひどく狼狽(ろうばい)しました。それからいぶん時間はかかりましたが、当初の狼狽

や当惑は、やがて、畏怖(いそ)の念に変わっていききました」

ジェフリー・チュー(カリフォルニア大学物理学学科長・ブーストラップ《靴ひも》理論で有名)

ショーペンハウエル

■「私はすべてのものより、仏教に優位を認めずにはいられない」

岸本英夫

■「世界に数ある宗教の中で

「宇宙の真理が明快に説かれていることには驚嘆するばかり」

も、仏教ほど近代的な科学思想と手をたずさえて、摩擦の少ない

い宗教はまれであろう」

岸本英夫・東京大学宗教学教授。S39年60歳死去。

池内了

▼時計や機械、車などは、それらを分解し、また組み立てれば元の姿と何ら変わりません。これと同じように、すべての現象、例えば生物なども機械のように分解できるので、これらを機械と見なします。つまり、どんな複雑な現象でも、単純な要素に分解できれば、その構成要素の性質を説明できる、との考え方です。

「要素還元主義と機械論的世界観」

「全体論」

▼しかし、部分の性質、要素を単純に足しても全体の性質を説明できない現象も多く、その典型が生命なのです。

分でも必ず全体が反映されていると考え、トマト一つでも宇宙全体が反映しているとするのです。

例えば、東洋医学が体を全体として捉え、これを根本療法と呼ぶのに対し、体の臓器などを部品の一つひとつとして捉え、全体を見ることなく、対処療法と呼ぶ西洋医学との違いが、良くお分かりいただけることと思います。以下はジョークですが、いざ「私は右目専門の医師ですが、左目は左目専門の医師へ行ってください」と。

▼結局、要素や部分は全体に戻すことはできず、部分を全体に戻した場合、部分の総和以上の特質がある、とも言います。

つまり部分部分を理解しても、全体を理解することはできません。これを全体論と言い、「ホーリズム」とも呼びます。「木を見て森を見ず」では不完全ですね。

池内了(さとる)77歳(日本に於ける最高の理論宇宙物理学者・天文学者。京都大学、東京大学、大阪大学等々にて研究。名古屋大学

■「様々な発見をしてきた物理学だが、物理学は未だに仏の手の平をうろついている存在(孫悟空)ではないのである」

■「過去数十年の間に、日本の物理学者たちが物理学の発展に対して大きな貢献をしてきたのは、東洋の哲学的伝統(仏教)と、『量子力学』が、根本的に似ているからなのかもしれない」

ハイゼンベルク(ドイツの理論物理学者・量子力学に絶大な貢献)

ハイゼンベルク

湯川秀樹

■「素粒子の研究に、ギリシャ思想(ソクラテス、プラトン、アリストテレス)は全く役に立たないが、仏教には多くを教えられた」

湯川秀樹(日本初のノーベル賞受賞・物理学)

小室直樹

■「仏教の説く『空・くう』は、人類が到達した最深、最高の哲理であろう」

小室直樹(東京大学出身・法学博士・社会学者・評論家)

仏教である』と述べています」

佐治晴夫・昭和10年生まれ・理論物理学博士・東京大学物性研究所教授・NASA客員研究員。

編集後記
ど
■今、
艱難辛苦
(かんなんしんく)
の只中にいる若い君たちへ：「幸せとは、時には不幸という帽子をかぶってやってくる」
「寒さにふるえた者ほど太陽を暖かく感じる。人生の悩みをくぐった者ほど生命の尊さを知る」
「人生は学校である。そこでは幸福よりも不幸の方がより良い教師となる」
「明けない夜はない」
「冬は必ず春となる」「難あるは有り難い。竹は節から芽が出る」
「失敗は恵みである」「雨の日は雨の日を、悲しみには悲しみを、通さないと見えてこない喜びに出会わせてもらおう」
「人生において最も耐え難いことは悪天候が続くことではなく、雲ひとつない日が続くことである」
「病んだことのない者を友とせず」
「この病は仏のお計らいか。病によりて道心はおこり候なり」
…受け入れ難い現実も人生かな(〃)

「望みはしないけれど、生きてしまう。それが現代です。適当な時期に死ぬというのは、なかなか難しいことなのです。今や早死にの危険は減ったけれど、長生きの危険が高まっています」 久坂部 羊(くさかべ・よう。医師)